

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 兵庫県立文化体育館 Kコート

試合区分: No. 419 少年女子 2回戦

期 日: 2006(H18)年10月2日(月)

主審: 塚本 圭右

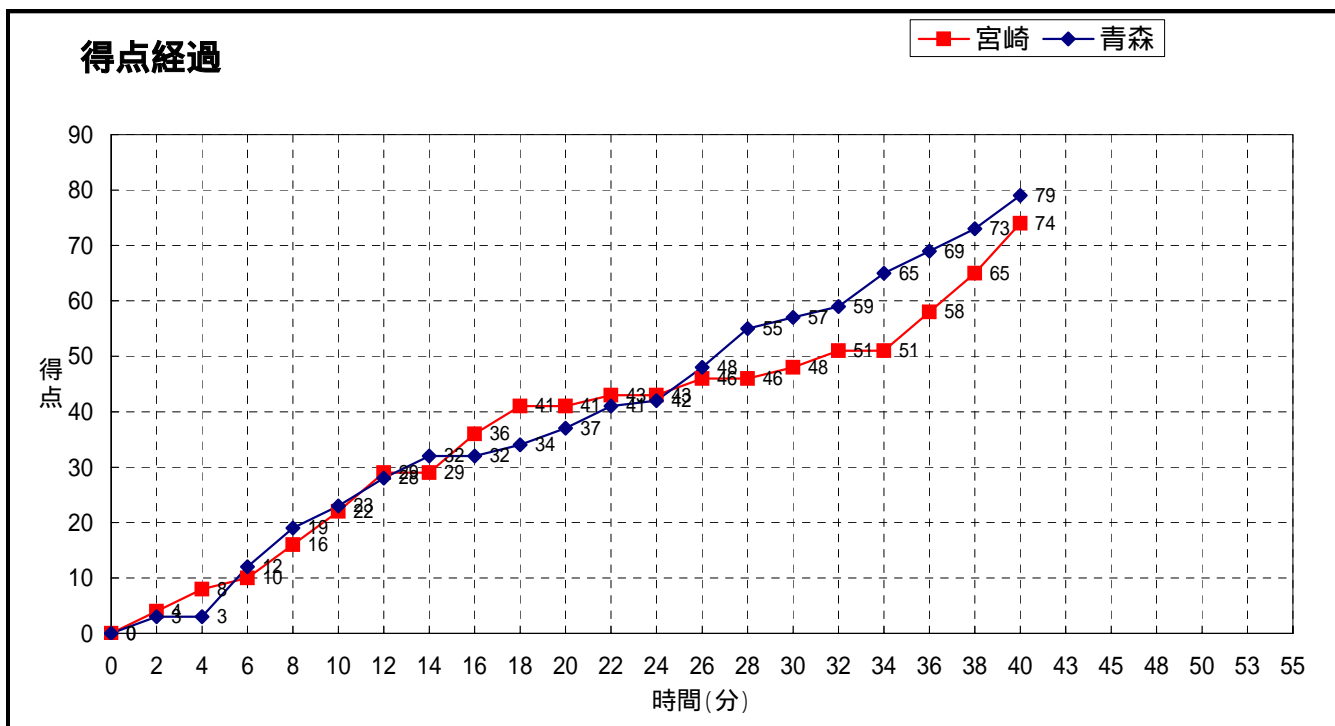
開始時間: 10:00

副審: 春名 圭

終了時間: 11:21

青森						宮崎									
79						74									
(東北)						(九州)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	佐々木 知香	31	0	14	3	2	4	*	竹井 友理恵	8	0	4	0	2
5		佐々木 茜	-	-	-	-	-	5	*	田中 亜季	11	3	1	0	2
6		小村 沙都美	-	-	-	-	-	6	*	宮本 理沙	17	2	4	3	1
7	*	古間木 杏奈	12	0	6	0	5	7	*	松田 友里香	18	0	7	4	4
8		金田 瑞季	2	0	1	0	0	8	*		20	3	4	3	2
9		川崎 結衣	-	-	-	-	-	9		熊元 理沙	-	-	-	-	-
10	*	田村 奈津子	0	0	0	0	0	10		吉野 景子	-	-	-	-	-
11		遠藤 雅子	-	-	-	-	-	11		森田 千尋	-	-	-	-	-
12		笹本 枝穂	-	-	-	-	-	12		宮原 舞	-	-	-	-	-
13	*	阿保 由香	27	5	6	0	1	13		橋本 依里華	-	-	-	-	-
14	*	加藤 縁	5	1	1	0	1	14		白谷 優香	-	-	-	-	-
15		橘 翔子	2	0	1	0	1	15		松永 京子	-	-	-	-	-
コーチ		千葉 哲也						コーチ		西田 次良					
合計			79	6	29	3	10	合計			74	8	20	10	11

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、宮崎、青森とも気迫あふれるマンツーマンディフェンスで開始。両チームとも速攻での主導権争いとなる。中盤、青森が#13阿保のドライブインや、#14加藤の3Pシュートで流れに乗るかに見えたが、残り39秒、宮崎#8が3Pシュートを決め、23-22と宮崎が1点差に詰め寄ったところで終了。

第2ピリオド、白熱した接戦となる。青森は#4佐々木(知)、宮崎は#4竹井がインサイドで攻撃の軸となる。一進一退が続くが、宮崎は残り4分、#4竹井のゴール下シュート、#8の3Pシュートで36-32と4点のリード。流れをつくった宮崎は残り2分29秒、#8が3Pシュートを決めて41-34とし、ゲームの主導権を握る。青森も懸命に応戦するが、41-37と4点差のまま前半を終了。

第3ピリオド、青森は#4佐々木(知)がリバウンドとインサイドシュートで追い上げる。一方、宮崎は青森の激しいマンツーマンディフェンスのために、前半戦で16点を決めた#8のシュートが落ち始した。残り5分、ついに青森が#4佐々木(知)のゴール下シュートで追いつき44-44。接戦のなか、残り3分37秒、青森#7古間木がゴール下シュートを決め50-46、4点差となったところで宮崎はタイムアウト。直後、青森は#13阿保が3Pシュートを決め、53-46と7点をリードを広げ、一気にリズムをつかんで第3ピリオドを終える。

第4ピリオド、青森は厳しいマンツーマンディフェンスを続ける。宮崎は#7松田のシュートで反撃するがなかなか点差が縮まらない。残り7分、青森は気迫あふれるディフェンスで24秒オーバータイムを奪い圧倒する。残り6分、青森#4佐々木(知)がポストシュートを決めて63-51、12点差とさらにリードを広げた。追いすがる宮崎は最後までオールコートマンツーマンディフェンスで懸命に戦ったが、青森#4佐々木(知)を止められず、5点差に迫ったものの、惜しくも敗退した。

担当者: 中村 憲二郎(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会